

第12回よむゾーくん大賞

作品集(入賞作品)

今年読んだ本で、「感動した!」、「大好き!」、「これはいい!」など、
藤枝市内の学生がおすすめしたい本を文章と絵で紹介する「作品」を
募集しました。入賞された作品を紹介させていただきます。

市長賞 小学生低学年部門

高洲小学校 2年生 池谷 采姫 さん

「いいこってどんなこ?」

富山房

ジーン・モデシット／文
ロビン・スポート／絵
もき かずこ／訳



わたしのおすすめの本は、『いいこってどんなこ?』という絵本です。わたしの一番すきなところは、うさぎのバニーのしつ間にお母さんが「バニーは、バニーらしくしてくれているのがいちばんよ。」という言ばです。ばかなことばかりしても、どんなにおばかさんでも、バニーはおかあさんのたからもの。というところは、心があたたかくなります。バニーのお母さんのお話は、読むとやさしい気持ちになります。大すきな本なので、ぜひ読んでください。

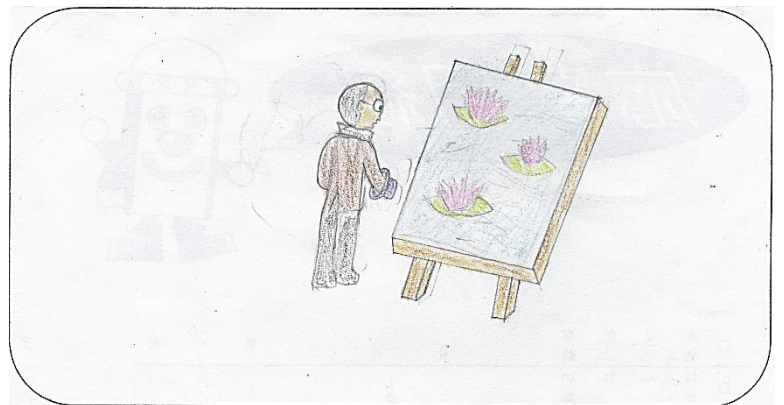
市長賞 小学生高学年部門

青島東小学校 6年生 中野 妃奈子 さん

「美しき愚かものたちのタブロー」

文藝春秋

原田 マハ／著



私がこの本をオススメする理由は、西洋絵画の表現が美しいと思ったことと、戦争の悲惨さを改めて感じたからです。東京にある国立西洋美術館は戦後、日本へ寄贈返還された「松方コレクション」を展示するために造られました。この美術館を造るために絵画を愛する日本人が外国で頑張っていたことを知りました。そして戦争で失われたものも知り、とても悔しかったです。少し難しい本だけけど読み始めると絵画が目の前にあるように思えてとても楽しいです。

市長賞 中学生部門

藤枝中学校 2年生 松本 詩音 さん

「目がみえない耳もきこえないでもぼくは笑ってる」

KADOKAWA

佐々木 志穂美／著

YUME／絵



この本は、全員障がいを持った三兄弟の生活をかいた本当にあった物語です。長男の洋平は七万七千人に一人の重い病気を持っていて次男の大は自閉症、末っ子の航は知的おくれの自閉症を持っています。その三兄弟を育てているお母さんに注目しながら、読んでみてもいいかもしれません。私は大変な事がたくさんあると思うのに楽しく過している三兄弟のお母さんの明るさが印象的でした。自分が明るくなれる本です。みなさんも是非、読んでみてください。

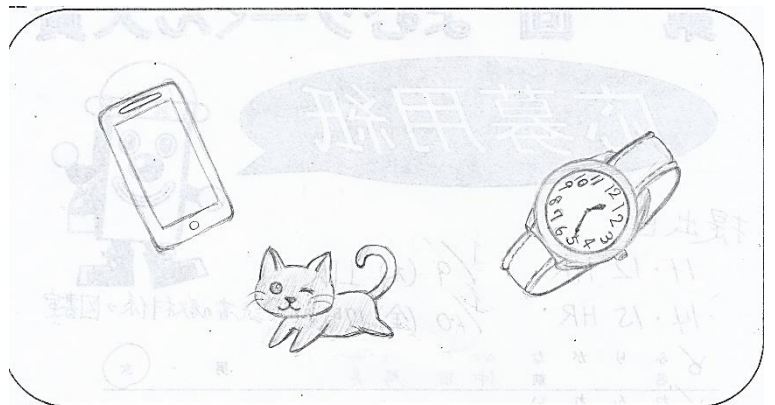
市長賞 高校生部門

藤枝順心高校 1年生 仲田 琴美 さん

「世界から猫が消えたなら」

マガジンハウス

川村 元気／著



郵便配達員として働く三十歳の青年。ある日突然、脳腫瘍で余命わずかであることを宣告されました。余命宣告された青年の前に自分とそっくりの悪魔が現れ、一日命を延ばすのと引き換えに、この世界から何か一つ消すことを持ちかけられました。電話や映画、時計が次々と消えてゆきます。何かを得るためには、何かを失わなくてはならないということです。失うことでその物の価値や大切さが感じられます。あなたには消えてほしくない〇〇はありますか。

教育長賞 小学生低学年部門

岡部小学校 1年生 榊原 琉也 さん

「理科室のがいこつボキボキ」

借成社

末吉 暁子／作
原 ゆたか／絵



このほんには、4つのおばけができます。りかしつのがいこつ、トイレのペラペラ、こうていのきんたろう、ずこうしつ
のモナリザ。どのおばけもまぬけで、おもしろくてわらえる、おばけです。ぼくが好きなおばけは、モナリザです。だれ
もいなくなると、えのぐでおけしょうをします。じょうずにえをかいてもらえないとおこったかおにかかります。かわいく
かくとにっこりわらいます。こんなおばけががっこうにいるとたのしくなりそうです。

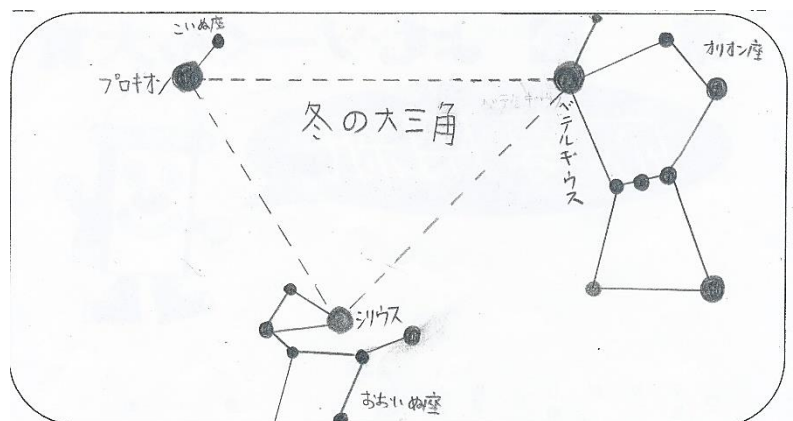
教育長賞 小学生高学年部門

広幡小学校 4年生 青木 優奈 さん

「星座をさがそう」

あかね書房

藤井 旭／著



太陽がしずむころ、星が一つ二つと見えはじめます。そんな星たちの動きや星座が分かりやすくていいです。
季節で、見える星座が変わります。しかし北の空にある北極星のこぐま座は、一年中動きません。私は、オリオン
座や冬の大三角のページが好きです。まっかなベテルギウスは、冬の夜空でとてもかがやいていて見つけやす
いです。本を読んでから星を見ると星座の名前や形が分かりやすいので、とてもおもしろかったです。

教育長賞 中学生部門

藤枝中学校 2年生 河原崎 遼 さん

「夜と霧」

みすず書房

ヴィクトール・E. フランクル／著

池田 香代子／訳



この本はユダヤ人で心理学者であるフランクルが第二次世界大戦の時にドイツの強制収容所で体験したことをまとめた本です。心理学者であったフランクルは残酷な強制収容所の中で様々な人間の特徴を発見しました。強制収容所を生きのびれる人と死んでしまう人の違いなどを発見し少しの命でも救えるように努力しました。この本は東日本大震災の時に多くの人に読まれてつらい時にぼくたちは何ができるのか多くの人に伝えた本です。

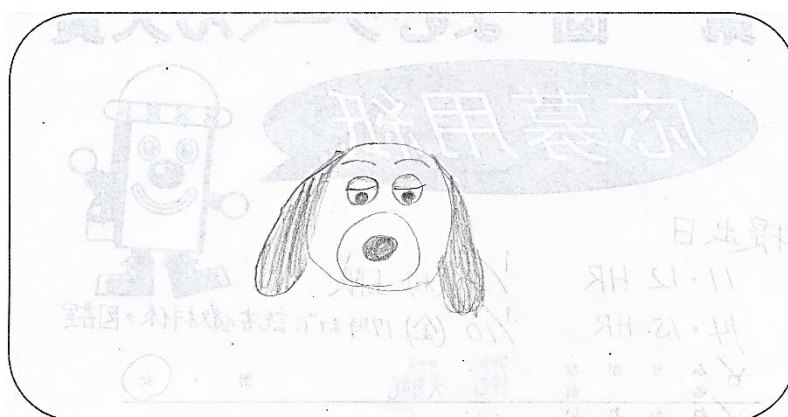
教育長賞 高校生部門

藤枝順心高校 1年生 仲田 美有紀 さん

「盲導犬不合格物語」

学研

沢田 俊子／文



みなさんは盲導犬不合格犬がいることを知っていますか。訓練を受けてもほんのちょっとした理由で不合格になってしまった不合格犬がたくさんいます。しかし、不合格になった犬達は新しくいろいろな場所で活動しています。この本を読むと、犬がどれほど賢くて優しいのかがよくわかります。とても感動する本になっています。一度読んで不合格になってしまってもがんばっていることを知ってほしいです。ぜひ読んでみてください。

図書館協議会長賞 小学生低学年部門

青島北小学校 3年生 廣澤 玖羽 さん

「もいちどあおうね」

大日本図書

長井 るり子／作

ひらの てつお／絵



じこで話せなくなってしまったあさひとユウレイになってしまったあきちゃんがぶしの子の生まれかわりのタヌキの小次郎とひきにげはんをつかまえるお話。はん人を見つけると、あきちゃんは天国へ、小次郎は森のおくへ。三人は、わかれてしまった。でも、三人でぼうけんしているうちに、あさひは話せるようになり、外に出る勇気をもつことができた。いつかまた、すがたをかえて三人で会えるといいね。

図書館協議会長賞 小学生高学年部門

高洲南小学校 5年生 森下 陽向 さん

「大研究！おいしく食べよう！ヨーグルト」

講談社ビーシー

松浦 まどか／漫画



私が毎朝食べているヨーグルト。そんなヨーグルトのひみつをみなさんは知っていますか。体にいいっていうけれど、本当かな？ヨーグルトをたくさん食べる、ブルガリアの国では、長生きの人が多。それは乳酸菌という生物のおかげ。おいしくて、栄養価が高く、体にいいといわれるヨーグルトについて、この本を読んで大研究してみませんか。また、いつものヨーグルトをよりおいしくより楽しく食べられる工夫ものっているよ。

図書館協議会長賞 中学生部門

藤枝中学校 2年生 岡谷 真鈴 さん

「晴れたらいいね」

光文社

藤岡 陽子／著



現代の看護師高橋紗穂はある日、一九四四年のマニラにタイムスリップしてしまいます。困惑を抱えつつも従軍看護師として働いてく紗穂、悲惨な戦争に巻き込まれていく中で一人「命より大切なものはない」と己を貫き通します。紗穂の運命とは…。戦争を看護師の目線から書いた物語です。戦争の理不尽さや今生きている恵まれた環境に改めて気づかされます。また、登場人物の個性豊かさも読みどころの一つだと思います。ぜひ読んでみてください。